

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0174100511		
法人名	有限会社ヤマギシ企画		
事業所名	グループホーム入江 (1階)		
所在地	釧路市入江町8-29		
自己評価作成日	平成 31 年 2 月 1日	評価結果市町村受理日	平成31 年 4月 9日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_007_kani=true&JigvosyoCd=0174100511-00&ServiceCd=720&Type=search

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ		
所在地	札幌市北区麻生町5丁目2-35コーポラスひかり106号		
訪問調査日	平成31年2月18日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホームの運営理念を大切に認知症の利用者様のケアを行っております。職員は他施設の交換研修に積極的に参加して、より良いケアの向上に繋げております。利用者様の出来る事、出来ないことを見極め尊厳を守りながら自立支援を行っています。地域の中での高齢者支援の拠点となりながら利用者様やご家族が入江で過ごせて良かったと安心して頂けるケアを実践しています。往診医や医療連携により数多くの看取りもさせて頂きました。全職員の協力で共用デイを行いホームの利用者様と通所の利用者様が馴染みの関係になりレクリエーションやアクティビティ等を楽しまれています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は産業道路に面しているが、事業所の中まで騒音は聞こえない構造で過ごしやすい環境にある。近隣には会社や事務所、高齢者住宅、医院等があり一般住宅等が混在した地域に位置している。また、近くに自然が豊かな公園もある。管理者と職員は事業所理念の意義を踏まえて、利用者や家族の絆を大切に、利用者が思い思いに、ゆったり、のんびり、楽しく、健康で安全な生活を地域の一員として送れるよう支援をしている。利用者は職員と一緒に町内会行事(清掃事業、焼肉会等)に参加したり、近隣の小学校の運動会や学芸会に招待を受け参加して交流を深めている。また、シルバー展や事業所祭りには多数の地域住民が参加し、ボランティア(小学生、民謡・歌・踊り等)が来訪している。運営者は職員の育成にも力を入れ、研修会の参加を促しながらよりよいケアの質を高めるよう努めている。看取りの経験も豊富であり、医療連携もよく適切な医療を受けられるように支援を行っている。家族も事業所の現状を見て管理者と職員に安心して終末期を委ねている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本理念に沿って行っています。フロアの会議等では理念を職員で復唱を行い共有しています。	地域密着型サービスの意義を踏まえ、職員皆で話し合い理念を作り替え、管理者と職員が共有しフロア会議で復唱を行い共有し実践につなげている。次年度以降もその時の状況に応じ職員と一緒に見直しについて話し合いを行うと前向きな気持ちである。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の行事等ゴミ拾い、焼肉会など毎年参加させて頂いています。近隣には小学校があり運動会や学芸会に毎年招待を受けています。課外活動では年に数回子供達が訪問して交流を大切にしています。	町内会に入会し、清掃事業や焼肉会等に参加している。近隣の小学校の運動会や学芸会に招待を受け参加している。また、子供達が事業所を訪問して交流している。高校生のインターンシップを受入れ、事業所の夏祭りには地域住民やボランティア等の参加がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設長が認知症の講座等を行い理解を行っています		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月1回のペースで運営推進会議を行っています。その中で利用者様の報告や出席された方々からの意見交換しサービス向上に活かしています。	地域包括支援センター職員、町内会長、副会長、家族などが参加して、2カ月に1回定期的に開催している。事業所の取り組みや利用者の生活状況等を説明し、参加者からは意見やアドバイスを得てサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日ごろからわからないことなど市役所の担当の方に相談したり問い合わせしています。メールのお知らせ等での研修等も協力して関係を築いています。	市担当者や地域包括支援センター職員とは運営状況や生保関連等の相談などで意見や助言を得ながら協力関係を築いている。また、運営推進会議でもアドバイスを受ける等の交流を深めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は夜間のみしています。会議等では日ごろから危険性や具体的な禁止の行為等話し合い身体的拘束を行わないケアを行っています。	身体拘束委員会に準じた活動を開催し、マニュアルに基づき、社内研修を行って拘束のないケアに努めている。また、夜間のみ玄関は施錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	出来るだけ出席出来る研修には参加させて頂きカンファレンスや会議にて意見を交換し合い虐待防止に職員は努めています。		

グループホーム入江（1階）

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設長や管理者は研修等に参加して成年後見人制度を理解した上で利用者様も活用されている方もいて支援しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	施設長、管理者が対応しており、十分な説明をして理解をされる様努めています。改正などある時は説明後文書にて納得して頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	月に一度は職員が利用者様の様子をお便りでお知らせしています。毎年家族会を開き、意見交換を行い、ホームのお祭りなどの行事にはご家族様にも参加して頂き運営に反映させて頂いています。	家族会が2カ月に1度開かれており、意見交換を行い家族との絆を大切にしている。事業所の行事には家族も参加し、月1度の通信で利用者の様子を知らせている。家族来訪時には現状の報告や新しい情報があればお知らせして意見や要望を聞いて職員で情報を共有し運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議を通じて職員間で意見交換の機会を作り皆で話し合っています。	日常の業務の中や、会議の中で管理者と職員間で話しやすい雰囲気話せるよう機会を作って、職員の意見や要望を聞き、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	その時々で状況に応じて見直しをしながら職員がやりがいをもち向上できるよう努めて下さっています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の力量に合わせて研修会の参加をして頂いています。職員は働きながら介護福祉士を取得し現在も資格を取得を目指して取り組んでいます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流は少ないですが職員が交換研修を通じてお互い良い所、悪い所を参考にサービスの質を向上させる取り組みをしています。		

グループホーム入江（1階）

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様の情報を共有して、傾聴を心掛けて話しやすい環境をつくり信頼関係に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前に面談を通じて不安な事や要望などを傾聴し安心して頂ける様努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所時は細かく記録して情報を共有して職員間で話し合い見極めて支援に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様の残存能力を生かし出来る事、出来ないことを職員間で話し合い共有して信頼関係を築ける様に努め利用者様の意見も尊重しながらケアに努めています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月のホームの利用者様の様子をお便りでお知らせしていますが、何か変化があれば連絡をして様子をお伝えしてケアを進め関係性を築いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や馴染みの方が訪問の際は回りに配慮して自室で気兼ねなくお話が出来るよう支援に努めています。	地域行事に参加しながら馴染みの関係を増やし、散歩時に地域住民との挨拶や小学校の運動会・学芸会などに参加したり、幼稚園児の訪問で楽しいひと時を過ごし馴染みの関係をつくっている。また、喫茶店や美容室などへ行ったり、昔住んでいた場所に行って馴染みの人に会ったりしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の身体的状態に合わせてレクリエーションや活動等に皆さんが関われる支援に努めています。		

グループホーム入江（1階）

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ホームを退所されたご家族様でも時々顔を見せて下さり、不要になったタオルを持って来て下さったり、毎年クリスマスにはシャンパンを持って来て下さるご家族様も居ります。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の個々に意向、希望などを話し合い検討して、ケアに努めています。	日常生活で何気ない会話や表情・態度から思いや意向を把握し、職員同士が情報を共有し日々のケアに繋げている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個々に暮らし方が違うので会議等で話し合いその方に合ったサービスやケアを進めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	記録2にて24時間身体状態や過ごし方活動等把握して努める支援をしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様の担当者がモニタリング後職員で話し合いケアプランを作成して意見交換し反映して現状に合わせた介護計画書を作成します。	カンファレンスやモニタリングを行い、利用者や家族の意向を反映させて、3ヶ月に1度現状に即した介護計画を作成し、利用者や家族の同意を得ている。状況に変化があった時には医師や家族と話し合い、現状に即した介護計画を作成し新たに家族の同意と署名を貰っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	身体状況や気付きなどを個々に合わせた用紙にて記録して職員間で共有しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様の身体状態に合わせて柔軟なケア支援できるよう職員皆で努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の町内会、小学校、喫茶店、美容室、ボランティアさんやスーパーなどを利用者様と利用することで楽しく暮らしていける支援をしています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診等はご家族様対応ですが往診医を利用している利用者様もおります。ご家族様の希望に合わせて適切に治療が受けられるよう支援しています。	家族の希望に沿って支援を行っている。通院は家族が同行しているが必要に応じて職員も同行している。訪問診療は月2回、訪問看護は月2回実施し、連携医療機関（内科・皮膚科・精神科・訪問歯科医）等で通院をしなくて適切な診療を受けられるように支援をしながら利用者の日々の健康を管理している。	

グループホーム入江（1階）

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月2回の訪問看護師が来館され日々の利用者様の記録をもとに適切に支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は病院の相談員さんとの情報交換を行い退院後のケアをスムーズに行えるよう努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期に向けてホームのカンファレンスやご家族様と十分話し合いを持ち、主治医、訪問看護師等の医療連携についても説明して、職員は連携、記録、伝達を行い看取りも数回させて頂きました。	入居時に終末期について事業所の方針を家族と利用者に説明し、同意を得ている。終末期に向けては家族と話し合い、主治医や訪問看護師等の医療連携を説明、方針を共有しながら対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修等に参加した職員は会議で報告して年に数回は実践を行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内会の方や付近の方々の協力を得て年2回消防訓練を行っています。	年2回消防署立ち合いの下で、地域住民の協力を得て実施し、消防署職員からは具体的な避難方法等の指導を受けている。また、職員会議では胆振東部地震の体験から必要なものなどを書きだして将来の対策に結び付けている。また、避難も現実的になり連絡網も新たに構築した。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	意思疎通が取りにくい利用者様であっても否定せず御本人に合わせた声かけをしてケアを心掛けています。	トイレ誘導時には利用者の人格やプライバシーを損ねない対応を行っている。意思疎通が取りにくい人には利用者にあわせながら丁寧に声を合わせたケアに取り組んでいる。また、スピーチロックには気をつけながら支援を行っている。	利用者の人格や尊厳・プライバシーを損ねないケアは日頃より職員は取り組んでいるが、身体拘束委員会のような委員会を設けて、一度このテーマで研修を行うことを期待する。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何気ない会話を通じて本人の意向などを傾聴し出来るだけ行えるよう働きかけ支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	家庭的な雰囲気を大切にして一人ひとりのリズムに合わせた生活支援をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	御本人の希望を取り入れ馴染みの美容師さんに来て頂き身だしなみの支援をしています。		

グループホーム入江（1階）

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	買い物支援や調理、配膳、洗い物、洗濯物干し、たみ物等は利用者様とコミュニケーションをとりながら活動して支援を行っています。	利用者の状態や能力に応じながら買い物から調理から下膳まで職員と一緒にいき、食事の楽しみを提供し支援している。食事中も職員は利用者とのコミュニケーションを取りながら食事を楽しむよう努めている。外食を支援したり行事食を作り皆で楽しく食事をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	良い食事が摂れるようバランスを考え旬な食材を取り入れ個々に食事量や水分摂取量記録して支援を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後は口腔ケアを心掛けています。就寝前は毎日義歯をお預かりして消毒を行っています。利用者様によっては歯科医の往診をして頂いています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々に排泄のタイミングが違うので利用者様に合わせて行っています。尿意が感じられない利用者様の場合は食前、食後の様子を見て排泄リズムを考え支援しています。	排泄パターンを把握し、声掛け誘導をして、自立排泄に向けた支援を行っている。リハビリパンツやパット等、状態に合わせた排泄用品で対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便を促す様に起床時に牛乳を飲んで頂いたり、昼食後はヨーグルトを毎日提供するなど工夫して取り組んでいます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	共用デイサービスを行っている事で曜日や時間が前後してしまう事がありますが週2回は入浴されて清潔は保たれています。出来るだけ利用者様の希望に添えるよう個々に支援をしています。	希望に沿って週2回の入浴支援を行っている。デイサービスの利用者も入浴サービスを行っているため、曜日や時間配分しながら利用者に満足いくよう対応している。また、入浴剤数種類を用意して利用者の好みの入浴剤を入れて入浴の楽しみを支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室や居間で個々に休息が取れて過ごせるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	投薬時は複数の職員で確認し合い日付け名前を利用者様の前でも再度確認して支援を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	天気の良い時はドライブに出かけ気分転換をしたり、出来ること出来ない事を個々に見極めてゲームやレクリエーションで楽しんで頂き生活して頂いています。		

グループホーム入江（1階）

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	夏場はドライブや買い物、町内会の行事、小学校の運動会、ホームの夏祭りなどでご家族様も参加され外へ出かける機会が多いですが冬場は室内活動中心なのでレクリエーション、アクティビティ等で楽しんで過ごせるよう支援しています。	利用者の希望により、散歩や買い物に出かけたりして外出支援を行っている。また、町内会行事に参加したり、家族の協力の下で外出するなど利用者にとって楽しいひと時を提供している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様のご家族の希望があり、利用者様がお金の所持をしていなく、職員が代行して支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	意思疎通がだんだん難しくなってきましたので職員が間に入り支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物や好きな物を利用しています。部屋の温度は室内計にて確認して場合によっては加湿器を置いたり心地よく過ごせるように工夫しながらケア支援をしています。	共有空間は居心地よく過ごせるよう温度や湿度の管理等をおこなっており、調理室からは利用者の寛いでいる状況を確認しながら安全に配慮している。また、廊下の壁には利用者の作成した様々な絵や季節感ある飾りつけをしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ゆったり、のんびり過ごせるようにソファを置いたり歩行に妨げにならない様に日々利用者様の様子に合わせて配置換えをしたり工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物や使い慣れた物を活用して日々の暮らしに今何が必要か考えながらご家族様とも相談しながら御本人が安心して過ごせる様に工夫しています。	居室にクローゼットが設置され、使い慣れた馴染みのタンス・冷蔵庫・仏壇・机・テレビ・家族写真や記念の品を飾ったりしている。自分の好き物を置き安心して過ごせるように工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	歩きやすいように手すりを付けたり、場所がわかる様に張り紙をしたり安心して過ごせる様に工夫しています。		